



中野市プレスリリース 2026 年 10 月 8 日

天文学講演会「ブラックホールを見た人たち」

市立博物館では、天文学講演会を以下のとおり開催します。

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1 | 日 | 時 | 11 月 21 日(土) 午後 3 時～5 時 |
| 2 | 会 | 場 | 市立博物館 プラネタリウム室 |
| 3 | 講 | 師 | 長野工業高等専門学校 教授 <small>おおにしこうじ</small> 大西浩次さん |
| 4 | 内 | 容 | 人類はどのようにして「見えないはずのブラックホール」の存在を確かめようとしたのでしょうか。その研究の歴史を振り返りながら、ブラックホールの魅力をやさしく紹介します。 |
| 5 | 定 | 員 | 100 人（要予約、参加無料） |

詳しくは、下記担当課へお問い合わせください。

中野市立博物館

（館長）館林 （担当）関

電話 0269-22-2005

FAX 0269-38-1290

E-mail hakubutsukan@city.nakano.nagano.jp

中野市立博物館

2026. 秋の天文学講演会

Autumn Astronomy Lecture

2026
11/21
Sat.

受講料
無 料

講師

大西 浩次
さん

長野工業高等専門学校リベラルアーツ教育院 教授
博士（理学）

「**ブラッグホール**
を見た人たち」

ブラックホールとは、重力が非常に強く、光さえも外へ逃げ出すことのできない天体です。
まるでSFの世界に登場するようなブラックホールですが、その存在は、実は200年以上も前から予想されていました。

では、人類はどのようにして「見えないはずのブラックホール」の存在を確かめようとしてきたのでしょうか。そして、ついに私たちはブラックホールの姿を「見る」ことができるようになりました。

この講演では、ブラックホールの考え方が生まれた時代から、ブラックホールの存在を示すさまざまな観測、そして2019年に公開された史上初のブラックホール画像、さらに最新の研究までを辿ります。

その道のりを、ブラックホール研究を切り拓いてきた科学者たちの物語を中心に紹介します。

講演者自身も、これまでブラックホールの熱力学を研究してきました。今回は改めてブラックホール研究の歴史を振り返りながら、その魅力をやさしく紹介します。

「見えないもの」を、科学者たちはどのようにして「見た」のか……。ブラックホールをめぐる宇宙科学の歩みを、一緒に辿ってみましょう。

- 場 所：市立博物館 プラネタリウム室
- 時 間：午後 3 時～ 5 時
- 定 員：100名 ※要予約
- ご予約：（0269）22-2005



大西浩次（おおにしこうじ）

博士（理学）
長野工業高等専門学校リベラルアーツ教育院教授
日本星景写真協会理事、国際天文学連合（IAU）会員
日本天文学会員、「長野県は宇宙県」連絡協議会会長ほか
現在、毎日小学生新聞にて「ガリレオ博士の天体観測図鑑」を連載中。
「長野県は宇宙県」を合言葉として、星空や宇宙がより身近に感じてもらうための活動を行うとともに、天文学や市民科学の研究を行っている。

中野市立博物館

〒383-0046

中野市大字片塩1221番地

☎0269-22-2005

FAX0269-38-1290

※火曜休館日